

平成 30 年度 資源活用型下水道システムに関する研究集会企画案

NPO21 世紀水倶楽部 資源活用型下水道システム部会

開催趣旨：平成29年8月に発表された「新下水道ビジョン加速戦略」において、今後加速すべき重点項目の一つとして、下水道の活用による付加価値向上が取り上げられ、基本的な施策として、資源・エネルギー化の促進が提示されています。その具体的事業項目として、PPP/PFI の活用や地域バイオマス受入れ等による効率的な汚泥利用（下水処理場の地域バイオマスステーション化）や、汚泥処理の共同化等が考えられています。こうした事業を通じ、下水道施設の省エネ化や下水熱利用を推進することで概ね20年で下水道事業における電力消費量の半減を目標としています。本研究集会では、このような情勢を踏まえ、「下水処理場の地域バイオマスステーション化の現状と今後の展開」をテーマに、学識経験者や先進事例を持つ自治体の方がたをお迎えし、地域バイオマスステーション化、汚泥処理の共同化のポテンシャルや社会的意義を議論するとともに、最新の技術の事例の紹介を行います。また、総合討論で、今後の地域バイオマスステーション化、汚泥処理の共同化の発展方向や官民連携の強化策などについて討論します。

1) 開催日：

平成 30 年 11 月 27 日（火） 13 時 30 分～

2) 場所： 健保プラザ 東京都渋谷区千駄ヶ谷 2-37-9 [けんぼマップ.pdf](#)

3) 講演プログラム

1 基調講演 13：40～14：20

「地域バイオマスステーションとしての下水道の役割と取組」

長岡技術科学大学准教授 姫野修司様

2 地域バイオマスステーション化事業実施事例紹介 14：20～15：50

「埼玉県流域下水道を核とした下水汚泥の共同処理化について」

埼玉県 下水道事業課主査 石川淳様

「～ 新たなエネルギーの創出 ～下水処理場における地域バイオマスの利活用」

豊橋市上下水道局下水道施設課長 七原秀典様

「官民連携による消化ガス発電事業」

月島機械株式会社 水環境事業本部 ソリューション技術部 新事業グループ

サブリーダー 青柳 健一様

3 総合討論 16：00～16：50

総合討論コーディネータ 21世紀水倶楽部理事 昆久雄

4) 交流会 17：00～18：30 参加費 4000 円/人

5) 参加者及び費用

会員、公的団体は無料。民間企業等は 2000 円/人

6) 参加申し込み 定員は 90 名 定員に達したら締め切ります

お申込みは平成 30 年 11 月 5 日（月）までに、研究集会[参加登録フォーム](#)からお願いします。

7) ・お問合せ E-mail：sympo-info@21water.jp